【特許】平面画像の立体認識による分離方法と製品

**事業概要**

　国内外内の交通事故多発をより安全・安心なものにするために考え出しました。

通行区分帯・レジ等の順番整列帯やゾーンを平面画像でありながら、あたかも立体物があるかのように見せ、走行中の通行

区分帯から他の区分帯に侵入させにくくさせ、事故を激減させる方法及び製品です。

誤って他の通行帯・ゾーンに侵入したとしても、従来のように構造物にぶつかることが無く、怪我や物損事故もなく、荷降ろし

・一時駐車も可能であり、商店街への影響も少ない。

構造物でないため交差点上に設置することにより、自動車と自転車・歩行者等の巻き込み事故も大幅に防げる。

**解決すべき課題／市場ニーズ（背景）**

**背景・動機**近年自動車道路での自動車と自転車の事故や歩道での自転車と歩行者との事故が増え、また、放置自転車等の

対策や事故を減少させる方法が要望されている。

　　　放置自転車・違法駐車自動車対策に道路標識コーンやバリケード、注意看板等を設置しているところもある。

　　　劇場・店舗・駅等での切符や買い物品のレジなどでは、白線を引いたり、テープ等で順番整列をさせている。

　　　道路上に突起物として、路面を分離したものがあるが、自動車・自転車・歩行者が乗り上げ転倒する危険性がある。

　通行区分帯・ゾーンや順番整列帯・ゾーンにあたかも立体物があるかのように見せることにより、走行中の通行区分帯から

他の通行区分帯やゾーンに侵入しにくくさせることで、安全・安心な分離方法であることから考案した。

**導入効果**

　　　放置自転車・違法駐車自動車対策、劇場・店舗・駅等での切符や買い物品のレジなどの順番整列では、立体視覚による

分離帯・ゾーンに似顔絵・仏像等踏んだり、侵入しにくい画像や絵等を用いることで高い効果を上げる。

　　　誤って他の通行帯・ゾーンに侵入したとしても、従来のように構造物にぶつかることが無く、怪我や物損事故もなく、荷降ろし

・一時駐車も可能であり、商店街への影響も少ない。

　　立体視覚による分離帯・ゾーンの平面に描くものは図形・画像・絵等多方面にわたり、草木や季節の花を立体視覚にすると、花壇や植木をする必要が無く、冬でも草花が見られる。

　構造物でないため交差点上に設置することにより、自動車と自転車・歩行者等の巻き込み事故も大幅に防ぐことが出来る。

　　放置自転車・違法駐車自動車対策、劇場・店舗・駅等での切符や買い物品のレジなどの順番整列等で活用できる。

　道路面だけでなく、壁や柱・天井等にも利用し、出入り口や方向指示等を視覚により立体的に見せることができる。

**提供する技術、サービス、商品**

通行区分帯・レジ等の順番整列帯やゾーンを平面画像でありながら、あたかも立体物があるかのように見せ、走行中の通行

区分帯から他の区分帯に侵入させにくくさせ、事故を激減させる方法及び製品（交差点の中央においてもぶつからず、乗りあ

げるだけで事故が低減します

**ターゲット顧客**

**市場とターゲット**

　大・中・小規模土木関連企業・公共土木機関等⇒設営・導入・利用による増収および広告副収入

大・中・小規模イベント・コンサート・駅・商店⇒設営・導入・利用による増収および広告副収入

　**規模**

道路標識、駐車場、店舗整列窓口、機械や危険個所などの区分ではとてつもない規模である。

**動向**

世界の趨勢は２Ｄから３Ｄに変化しており、このことからも将来性、成長性ともに疑いのないものである。

**今後の計画**

　　大学、企業等との連携等により計画促進します。

世の中の需要計算は多方面の調査が膨大で時間の関係で正確には現在算出出来ていませんが、誰もが膨大な数字にな

ることは疑いえません。

 テーマパークや特に２０２０年東京オリンピックには最適である。

**価格設定(埼玉県新技術・新製品マッチングモデル事業で埼玉県よりポール画像シートの見積もり提出済み)**

　　道路・駐車場など土木関連：従来の実物と比較して優位な価格設定。（品質・安全・安心を加味）

**平成２８年度埼玉県新製品・新技術マッチング事業（応募者）採択実証**

ポール平面画像検証　しらこばと水上公園出入り口　平成29年2月11日（土）12：00～13：00

駐車場（これまで混んでくると検証通行帯に駐車していた→駐停車なし）

　　　　 　 　 　立体視認識→左側通行順守　　進入→左通行　左通行→スムーズな通行

　　　 　 　 　　立体に見えない反対側：中央通行→画像認識→左側に寄る→左側通行

**結果**　5分間に5～10台の自動車通行（双方とも）1時間で約300～600台　左側通行なし1台（躊躇）

　　　　　画像乗り台数最初2枚程度×300～600台×2（相互）　　　全く剥がれや画像変化等なし

　　　　　＊画像貼付なし道路はすべて車が道路中央を通行→画像認識→左側通行→正面衝突危険回避